

# ColorFlex® EZ Tomato クイックスタートガイド

A60-1016-345 バージョン 1.0



## A 装置のセットアップ

1. AC アダプタを、ColorFlex EZ Tomato センサー背面の左側のポートに接続します。



2. 電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。



3. プリンタやその他の USB デバイスを使用する場合は、ColorFlex EZ の側面にある 2 つの USB ポートのいずれかに接続してください。



4. ボタンパッドの「GO ( )」を押して、ColorFlex EZ Tomato の電源を入れます。



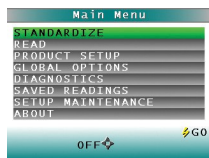
これで、測定機器は標準化の準備が整いました。

5. (オプション) HunterLab社のEasyMatch QCソフトウェアを使用したColorFlex EZ Tomatoの制御

ColorFlex EZ 背面の Mini-B プラグから USB ケーブルを  
の背面の Mini-B プラグから、PC の標準 USB プラグ  
に USB ケーブルを接続します。コンピュータで  
CMR-3048 を使用して EasyMatch QC を起動し、  
ColorFlex EZ をセンサーとして接続します。

## B 標準化

1. 標準化を行う前に、サンプルカップ用ポートプレートを取り付けてください。「MAIN MENU」から「STANDARDIZE」を選択し、「GO」を押してください。



2. スタンドの箱を開け、ポートに黒いガラス板をセットします。「GO」ボタンを押してください。



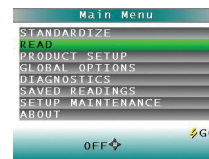
3. キャリブレーション済みの測定用ホワイトタイルをポートに置きます。「GO」を押します。



これで、本機はサンプルの読み取り準備が整いました。

## C 読解例

1. MAIN MENU から「READ」を選択し、「GO」を押してください。



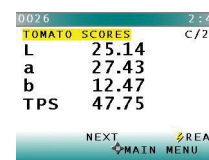
2. 上下矢印キーを押して、リストからセットアップを選択してください。「GO」を押して続行してください。



3. 加工済みトマト製品を、サンプルカップがいっぱいになるまで注ぎ入れます。ベストプラクティスとして、サンプルカップを不透明なカバーで覆ってください。「GO」を押して「READ」を表示させます。



4. 「GO」ボタンを押して測定すると、色測定値が表示されます。



次のトマトのスコアを表示するには、上矢印キーを押してください。

5. 下矢印キーを押して、測定値をメモリに保存し、USB プリンターで印刷します。



本機器の使用に関するより詳細な手順については、『ColorFlex EZ Tomato ユーザーマニュアル』をご参照ください。

当社の全製品に関する情報は、[www.hunterlab.com](http://www.hunterlab.com) をご覧ください。